

令和4年度 第2回図書館協議会議事録

1 開催日時 令和4年9月1日(木) 午後2時～午後4時

2 開催場所 榛原文化センター集会室3

3 出席者

【牧之原市図書館協議会委員】(1名欠席)

鈴木 善彦
水嶋 みゆき
岩崎 陽子
大石 武晴
佐藤 寛
杉本 公恵
武田 てるみ

【事務局】

教育長	橋本 勝
教育文化部長	内山 卓也
社会教育課長	永野 智芳
図書館長	杉村 明彦
図書係長	八木 いづみ
総括主任	元木 香代
総括主任	水野 秀信

4 傍聴者 2名

5 議題

【報告事項】

榛原図書館改修等のスケジュール案について

【協議事項】

設計提案書の説明及び意見交換

6 内 容(要点記録)

【報告事項】

榛原図書館改修等のスケジュール案について

◎事務局説明要旨

- ・令和4年8月に設計の業務委託プロポーザルによって業者を選定し、契約した。設計期間は来年1月末まで。
- ・今後、設計業者と図書館職員の意見交換や、児童生徒も含めた市民向けのワークショップを企画して、いろいろと意見をいただくことを予定している。
- ・改修工事に先立ち、セルフ貸出機を今年度中に榛原図書館へ導入する。
- ・改修工事は令和5年6月からの予定。工事前に備品や資料の引っ越しがあり、今の榛原図書館は令和5年5月から休館する。休館期間、ひまわり号を活用した臨時窓口を考えている。工事は12月に終わり、開館準備を経て令和6年4月開館を目指している。
- ・改修工事開始に合わせ、令和5年6月から新館の愛称募集を行う。

◎委員からの主な意見等

(質問)過去に改修工事を行ったときは、榛原庁舎のラウンジで臨時の図書館窓口を開設したことがあったが、今回は可能か。

(市回答)図書館オンラインシステムが稼働したことなどから、開設に高額な費用がかかるため難しい。予約取り寄せの制度を活用してもらいたい。

(意見)いこつを作るとき中学生が本のクリーニングボランティアを行った。幸先の良い始まりの象徴のような光景であり、今回も多くの子どもたちが参加できる仕組みを考えてほしい。

(市回答)参加できる場を作り、ファンになってもらえるよう努めていく。

(意見)利用者カード作成時に、ブラジル人の家庭では利用案内が読めず本を借りられない人がいる。ポルトガル語の申込用紙や幅広くユニバーサルのサインを検討してほしい。

(市回答)どういったニーズがあるのか、どんな対応がよいかを調査し、国際交流協会への協力を求めながら前向きに進めていく。

(質問)工事休館中、ひまわり号の巡回先を増やす予定はあるか。

(市回答)現在の巡回先に「榛原文化センター前」を週2日追加する予定。

【協議事項】

設計提案書の説明及び意見交換

◎事務局説明要旨(設計提案業者からの説明)

- ・1階すべてを図書館エリアとして改修する。2階現図書館は貸館機能に変更する。

- ・提案したコンセプトは「書棚から椅子へ」、「中心市街地を変える図書館」のふたつ。
- ・蔵書優先ではなく、人が快適に読書や交流を楽しめるデザインを考えた。
- ・SDGsの未来志向により、現在榛原図書館で使っている書架等で今後も使えるものは、リメイクして改修後の図書館で再利用する。
- ・榛原庁舎周辺には飲食店等が少ない。榛原文化センターにキッチンカーが来て、建物北側の芝生エリアでお弁当を食べるシーン等が考えられる。また、風除室南側に飲食や待ち合わせに活用できるテラスを作る。
- ・図書館機能としては、市図書館基本計画に基づいた機能強化を図る。
- ・館内のサインは日本語の他、外国語も併記可能。

◎委員からの主な意見等

- (質問) 書架をスライド式にして収蔵能力を増やす等の発想はあるか。
- (建築士回答) ハンドル式の集密書架等があるが、耐荷重の問題もあり難しい。
- (質問) 新型コロナウイルスの先行きが不透明だが、何か対策はあるか。
- (建築士回答) 床面積も限りがある。電子書籍導入についても検討してほしい。
- (議長) 電子書籍に関しては課題もあり、きちっと議論した上で判断をお願いする。
- (質問) 一般エリアと児童エリアで行き来はできるのか。
- (建築士回答) エリア境目部分は、現在あるドアが今後も開口部として通行可能。それ以外は耐震壁になるので出入口を広げることは難しい。
- (質問) 防犯面を考え、学習室の壁の一部をガラスにすることはできるか。
- (建築士回答) 先ほどと同じように耐震壁のため変更できない。防犯カメラは設置可能。
- (質問) 北東の半地下エリアは湿気が溜まってしまうが、地上と同じ高さにしたら問題解決にならないか。
- (建築士回答) 大量にコンクリートを破壊した大規模改修になってしまうので現実的でない。
- (議長) 質問は一旦ここまでにして、設計提案書に対して各委員から要望等を並べて議論を深めていきたい。
- (意見)
- ・ミニ水族館やミニ植物園のような図書館がよい。
 - ・実験室や体験のできるスペースがほしい。
 - ・市民が集い、対話できるスペースがほしい。
 - ・建物の外回りだけでなく、見える景色全体をデザインしてほしい。
 - ・市民といっしょに作る花壇をやってほしい。
 - ・いこっとのお茶コーナーのように、榛原の郷土の特色を検討してほしい。
 - ・幼児用のトイレがほしい。
 - ・外のテラスには屋根をつけてほしい。
 - ・一般エリアと児童エリアの境目が狭く感じる。児童エリアに秘密基地のような遊び心を。

- ・蔵書を増やしてほしい。
 - ・個人情報の取り扱いもある事務室は壁で仕切り、作業スペースを確保してほしい。
 - ・貸館等の事務室は2階に移し、1階は図書館専用のカウンターにしてほしい。
 - ・外の人工芝スペースでおはなし会が開催できるようにしてほしい。
 - ・授乳室は子どもが開けてしまわないよう、高い位置に鍵をつけてほしい。
 - ・学習室に辞書や参考図書の書棚があると便利。
 - ・Wi-Fi 環境の整備をしてほしい。
 - ・車イスでも使いやすい通路や、テーブルの高さに配慮をしてほしい。
 - ・新聞のコーナーは部屋のすみでなく目立つところに置いてほしい。
 - ・書架のはしにちょっとした椅子があるとよい。
 - ・建物が暗い印象があるので、明るい雰囲気にしてほしい。
- (議長)委員から要望がありましたので、建築士の立場から、今の時点で回答をお願いします。
- (建築士回答)
- ・新聞棚について、その他にも目立たせたいものがあるので今後打合せをしながら優先順位を決めていきたい。
 - ・幼児用トイレは個別に作れる場所がなく、多目的トイレを活用する方向で検討したい。
 - ・デザインについては入口に近い方を変わったとわかる改修をして、奥に進むにしたがって費用を節約したつくりで考えた。外から見て図書館とわかるような看板を考えている。
 - ・実験室や対話スペース等については今後検討する。特に児童エリアでお金をかけずに工夫できることを考えていきたい。
 - ・キッチンカーは店ごと出張してくると人件費がかかるので、複数店舗の注文を集約して委託販売する形もあると思う。
 - ・テラスの屋根は作れないが、たたむことのできるタープの設置を考えている。
- (議長)たくさん意見があるので、今日回答できないことも持ち帰って今後の設計に活かしてもらいたい。意見でも出たが、特に市図書館基本計画に関わることとして、「蔵書の確保」、「飲食をどうするか」、「専門性を確保するカウンター・事務室」についてはいこっと整備時にも議論して考えた経緯がある。まず「蔵書の確保」について意見をもらいたい。
- (意見)気楽に読書するだけでなく、調査研究もできるよう蔵書を充実してほしい。この提案を見ると、いこつとに似ているような感じがする。
- (議長)居心地の良さ、居場所ということも大切なコンセプトで、収蔵能力を増やすこととは相反する部分もあるのですが、なにかよいアイデアはありますか。
- (意見)給湯室が児童エリアの前にあるので、そこが活用できないだろうか。また、階段の下やトイレの横の空間が使えるとよい。
- (意見)蔵書を増やすことだけ考えると、集いの場としての空間がなくなり人が来なくなるのではないか。2階の会議室に書架があってもよいではないか。
- (議長)制約のある中での改修なので、「蔵書・学び」と「居心地・場」のどちらか一方ではなく、

折り合いをつけることが肝要であると思う。次に「飲食」について意見ををお願いしたい。

(意見)テラスや人工芝スペースでは、飲食どちらもできるとよい。一方で建物の中では飲み物までにとどめ、食事はやめたほうがよい。

(委員)いこつとでは図書スペースでの飲み物、民間のエリアでの飲食、と棲み分けが定着してきているので、同じルールがわかりやすいのでは。

(委員)子どもたちからは駄菓子屋がほしいといった声があり、ちょっとした食事ができるスペースがあるとよいが、飲み物くらいの方がよいかとも思う。

(議長)飲食はいこつと開館の時も心配していたが、場所を分けて利用者もマナーを守って使っている様子がある。意見が分かれているので協議会としての結論は持ち越したい。次に事務室について協議したい。広さはどれくらいあるか。

(建築士回答)カウンター、事務室あわせて19.5平米。

(議長)図書館の事務室では、選書会議や個人情報を含む電話対応等も行っている。静岡県内にこの広さで運用している例は記憶にない。少しでも広くした方がよいが、全体の面積にも関わる。可動式の壁を用いるなどの工夫は可能か。

(建築士回答)他の施設では、ローチェアで簡単な打ち合わせをすることもあり、壁で区切らなくてもよいのではないかと考えている。2階に作る事務室も活用できるのでは。

(市説明)2階の事務室は来年度の休館期間に貸館及び生涯学習担当職員が使うことを想定している。再来年度の運用については社会教育課で検討中。

(議長)すぐ結論の出る話ではないが、工夫できないか検討をお願いしたい。三つの重点事項について協議したが、その他、気になる点があれば出してほしい。

(質問)ショップの様な書架で、高さがあるが安全性はどうか。また、高齢者は高い書棚から本を取るのがしんどく思うことがあるので配慮してほしい。

(建築士回答)地震発生時に落下防止のある書架を設置するよう考えている。

(市回答)図書館基本計画に基づき、収蔵能力を確保するため8段の書架がある。改修後スタート時にその棚すべて使うでなく、他にも閉架書庫や廊下のスペースを工夫することを検討したい。

(議長)児童エリアの入り口の狭さについて意見があったが、なにか対策ができないか。

(建築士回答)コンクリートを開けることはできないが、例えば、開口部の小口を鏡面仕上げにすることで広く見える工夫が考えられる。

(意見)キッチンカーのところに来た人に向けて本や読書のPRをして、ちょっと入ってみようと思われる仕掛けがあるとよい。

(議長)図書館へ誘う工夫をお願いします。委員から多くの意見、要望が出されたが、ひとつの要望を満たせばよいということではなく、全体を見渡して、今後も知恵を出していくことをお願いしたい。

以上